

【別紙様式2】

千葉県県土整備部所管公共事業事前評価自己評価調書

事業名	名洗港整備事業
担当課名	県土整備部 港湾課

1. 事業の概要

(1) 事業の目的	<p>令和4年3月に港湾計画が改訂された名洗港は、銚子市沖の洋上風力発電の促進区域に近接する港湾であり、建設補助・維持管理の拠点としての機能確保が期待されている。</p> <p>名洗港の施設整備を進めることで、風車の設置・メンテナンス効率の向上を図る。</p>		
(2) 事業の内容			
①事業期間・時期	令和5年度～令和9年度		
②事業規模	<p>係留施設 物揚場（水深3.5m）368m 物揚場（水深3.5m）140m（※既設岸壁改良）</p> <p>水域施設 航路 水深3.5m</p> <p>外郭施設 名洗防波堤(2)（改良）70m 防波堤 200m 港内防波堤 300m</p>		
③事業費	47.8億円		
④事業位置	名洗港犬若地区		
(3) 指標			
①事業目的	②指標	③現状値	④目標値
風車の設置・メンテナンス効率の向上	人員輸送船の係留隻数	0隻	3隻

2. 県が実施する必要性

(1) 現状及び課題	<p>【現状】 銚子市沖の洋上風力発電の促進区域に近接する名洗港では、人員輸送船による利用が求められるなか、漂砂による航路・泊地の埋没の影響により船舶が係留できない状況となっている。</p> <p>【課題】 ・洋上風力発電設備の建設補助・維持管理拠点の形成</p>
(2) 上位政策及び全体計画との関連	<p>「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略(令和3年6月)内閣府」では、重要分野のひとつに『洋上風力発電』が位置づけられ、競争力の強化のためにもコスト低減を目指す必要性が示されている。</p> <p>千葉県総合計画である「千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～」では、銚子市沖洋上風力発電の円滑な実施や地域振興を図るため、メンテナンスなどで利用が見込まれる名洗港の整備を進めることが示されている。</p>

(3) 優先度及び適時性	<p>【優先度】 銚子市沖洋上風力発電の事業者が令和3年12月に選定され、令和10年9月から維持管理の拠点として名洗港を活用することが求められていることから、名洗港の整備を行う優先度は高い。</p> <p>【適時性】 令和9年度から銚子市沖洋上風力発電の風車設置の開始、令和10年9月からの運転開始が予定されている。洋上風力発電の事業スケジュールに合わせた名洗港の整備が求められることから、早期に名洗港の整備を進める必要がある。</p>
(4) 代替案との比較	銚子市沖を含む千葉県太平洋沖で展開される洋上風力発電においては、名洗港が最も近接する港湾であり、代替港である鹿島港とくらべ、建設補助や維持管理の拠点としての優位性が高い。

3. 経済的・社会的効果

<ul style="list-style-type: none"> ○ 国土交通省のマニュアルに基づく費用対効果分析の結果、費用便益比(B/C)は1.44と便益が費用を上回っている。 ○ 名洗港の整備により、以下の効果が見込まれる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 洋上風力発電の設置・メンテナンスの効率化による業務コストの削減 ・ 航路の維持浚渫に係る費用の縮減

4. 財政的負担等の見通し

当該事業は、交付金事業を活用して事業を進める予定である。なお、事業着手後は、設計において新技術の活用等を検討し、コスト縮減に取り組む。

5. 環境に与える影響

環境影響予測を実施した結果、いずれの項目でも「影響は軽微」という結果であった。

6. 総合的な評価

本事業は費用便益分析の結果B/Cが1.44であり投資効果が見込めるとともに、カーボンニュートラルの取組のひとつ「洋上風力発電」の促進に寄与できること、洋上風力発電のメンテナンス港としての整備により地元企業が参入することにより、地域経済の活性化が見込まれること、海に風車が立ち並ぶ景観を新たな観光スポットとし、観光振興につながることを、以上より令和5年度から事業に着手する。
--

【別紙様式 3】

事業概要図

事業名	名洗港整備事業	路線又は箇所名等	名洗港犬若地区
-----	---------	----------	---------



【位置図】

